

交付償還運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「UBSコア・コンサバティブ・ファンド」は、2019年8月28日をもちまして信託約款の規定に基づき償還させていただきました。

当ファンドは、主として世界各国の株式および債券などの異なる複数の資産クラスの投資信託証券へ実質的に投資を行うことにより、日本を含む世界の複数の資産クラスに資産配分を行うことで、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

第12期末（償還日 2019年8月28日）

償 還 価 額	14,332.60円
純 資 産 総 額	1,288百万円
騰 落 率 [※]	-0.3%
分 配 金 合 計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBS コア・コンサバティブ・ファンド

追加型投信／内外／資産複合

第12期（償還日2019年8月28日）

作成対象期間（2019年8月14日～2019年8月28日）

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア
イーストタワー

<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

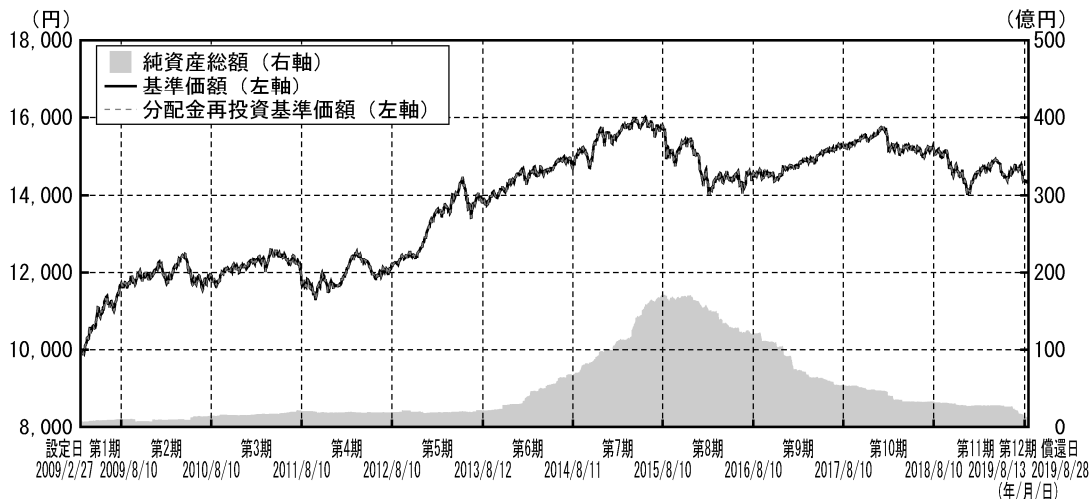
上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

基準価額等の推移について

<基準価額等の推移（2009年2月27日～2019年8月28日）>



第12期首	: 14,381円
第12期末(償還日)	: 14,332.60円(既払分配金 0円)
騰落率	: -0.3%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のおお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

■基準価額は期首比で48.4円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率は-0.3%となりました。

基準価額の主な変動要因

■償還の決定における現金化に伴う費用負担等によって基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

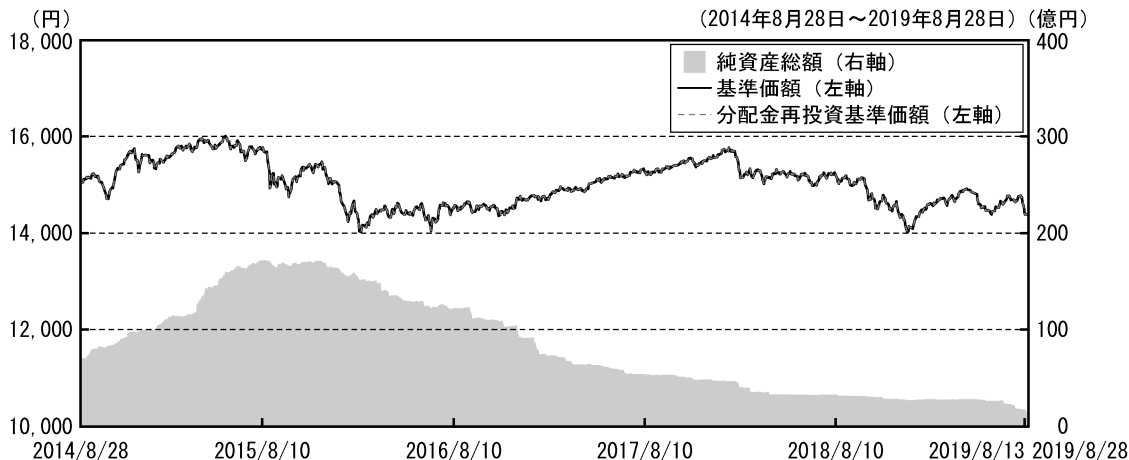
項目	当期 2019/8/14~2019/8/28		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	9円	0.063%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は14,332円です。
（投信会社）	(3)	(0.023)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(5)	(0.038)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の 情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.002)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(0)	(0.000)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
合計	9	0.064	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年8月28日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2015年8月10日 期初	2016年8月10日 決算日	2017年8月10日 決算日	2018年8月10日 決算日	2019年8月13日 決算日	2019年8月28日 償還日
基準価額 (円)	15,728	14,521	15,277	15,205	14,381	14,332.60
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.7	5.2	△ 0.5	△ 5.4	△ 0.3
純資産総額 (百万円)	17,069	12,175	5,400	3,326	1,380	1,288

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

※当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数 (参考指数) はありません。

投資環境について

<米国株式市場>

- 当期の米国株式市場は下落しました。前月の米国金融政策が期待されたほどハト派に傾かなかったことや、米国が対中関税第4弾を発表、それに中国の報復措置が続くなど、米中貿易摩擦問題が激化した事などが契機となり、2019年8月前半、市場は大きく下落。その後も逆イールド化が進む米国債券市場や引き続き不確実性が強く残る米中貿易摩擦懸念などが不安視され、当期間中（2019年8月中旬から後半）も軟調な展開となりました。

<欧州株式市場>

- 当期の欧州株式市場は概ね横ばいとなりました。2019年8月前半に米中貿易摩擦懸念などを主要因に大きく下落した市場ではあったものの、下げた水準からは底堅く、当期間中（2019年8月中旬から後半）は一進一退の展開となりました。

<米国債券市場（長期金利）>

- 当期の米国長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。米国金融政策が緩和姿勢に回帰する中、激化する米中貿易摩擦などを契機にリスクオフ基調が強まった事で、債券市場は堅調となりました。

<欧州債券市場（長期金利）>

- 当期の欧州長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。世界的な金融緩和姿勢回帰に加え、米中貿易摩擦激化やBrexit問題の混迷などを受けたリスクオフが強まる中で、債券市場は堅調となりました。

ポートフォリオについて

<当ファンドのポートフォリオについて>

- 償還の決定に伴い、現金化を進め償還日を迎えました。

<マザーファンドのポートフォリオについて>

- 当ファンドの早期償還の決定に伴い、現金化を進めました。

ベンチマークとの差異について

- 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

- 償還のため、分配は行いませんでした。なお、第12期（償還期）までに信託財産中に留保されてきた利益につきましては、償還価額に含みお支払いいたしております。

お知らせ

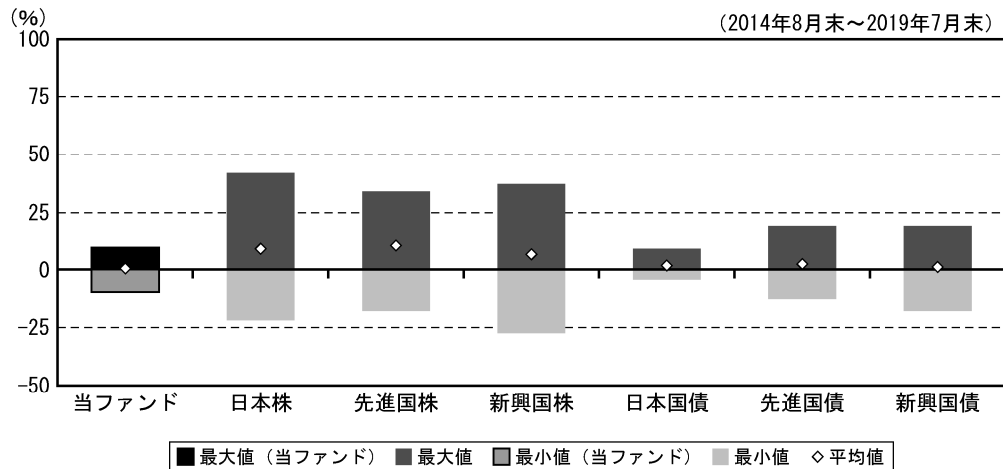
- 該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	信託設定日（2009年2月27日）から2019年8月28日まで	
運用方針	主として、「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券などの異なる複数の資産クラスの投資信託証券へ投資し、日本を含む世界の複数の資産クラスに資産配分を行うことで、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド 〈UBSコア・コンサバティブ・ファンド〉	UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド（以下「マザーファンド」）受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド 〈UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド〉	世界各国の株式および債券といった異なる複数の資産クラスの投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	ベビーファンド 〈UBSコア・コンサバティブ・ファンド〉	マザーファンド受益証券を通じて世界各国の株式および債券などの異なる複数の資産クラスの投資信託証券に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入れについては高位を維持することを基本とします。
	マザーファンド 〈UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド〉	主として世界各国の株式および債券といった異なる複数の資産クラスの投資信託証券に投資を行います。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。 複数の異なる資産クラスの別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）に複数投資することで、世界各国の株式および債券の市場に幅広く分散されたポートフォリオを構築します。 各資産の資産配分（アセット・アロケーション）にあたっては、株式、債券、絶対収益追求型運用への基本配分（および目標とするアロケーション・レンジ）をそれぞれ、25%（0-40%）、50%（20-100%）、25%（0-40%）といたしますが、投資価値の分析結果と市場乖離の度合いの分析結果をベースとして、市場動向等の定性判断を考慮のうえ、機動的な運用を目指します。 外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として円に対して為替ヘッジを行います。基本的なヘッジ比率は70%（円資産投資部分も含む）、ヘッジ比率のレンジは30-100%（円資産投資部分も含む）とします。 指定投資信託証券は、定期的または必要に応じて精査し、定性的ならびに定量的評価等を考慮のうえ適宜見直しを行います。その結果、必要と判断される場合には、指定投資信託証券として指定されていたものが除外される、または新たに主として有価証券に投資する投資信託証券等（ファンド設定時以降に設定された投資信託証券を含みます。）として指定投資信託証券に指定される場合があります。 UBSアセット・マネジメント（香港）リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。
配分方針	毎決算時（原則毎年8月10日、休業日の場合には翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から、委託者が市況動向等を勘案して配分金額を決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	9.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△9.7	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	0.4	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

* 2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

* 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

* 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

■ 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

（注1）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

（注2）詳細は最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご覧ください。

ファンドデータ

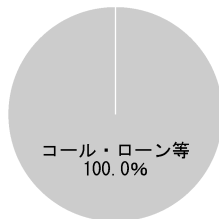
当ファンドの組入資産の内容

(2019年8月28日現在)

■組入上位銘柄

償還時における有価証券等の組入れはありません。

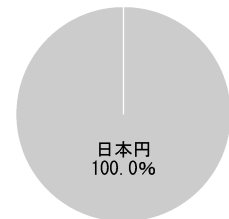
■資産別配分



■国別配分

償還時における有価証券等の組入れはありません。

■通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等については、「償還運用報告書(全体版)」をご覧ください。

純資産等

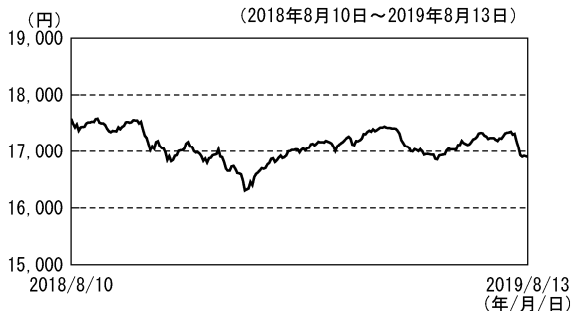
項目	第12期末(償還日) 2019年8月28日
純資産総額	1,288,652,705円
受益権総口数	899,105,738口
1万口当たり償還価額	14,332.60円

(注) 当期(第12期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は60,852,753円です。

組入上位ファンドの概要

<UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド>
(2019年8月13日現在)

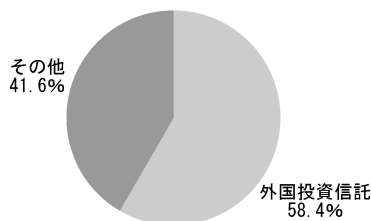
■ 基準価額の推移



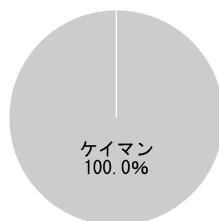
■ 組入上位銘柄 (銘柄数合計: 1銘柄)

銘柄名	比率(%)
UBS(CAY)Global Growth and Income Class A	58.4

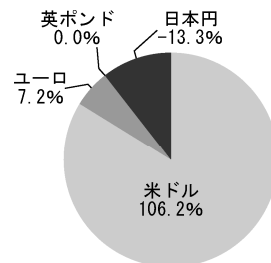
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 「国別配分」は、発行国または投資国を表示しております。

(注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「償還運用報告書(全体版)」をご覧ください。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期 2018/8/11～2019/8/13	
	金額	比率
その他費用	1円	0.003%
（保管費用）	(0)	(0.003)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	1	0.003

※期中の平均基準価額は17,118円です。

（注1）「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

（注2）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注3）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

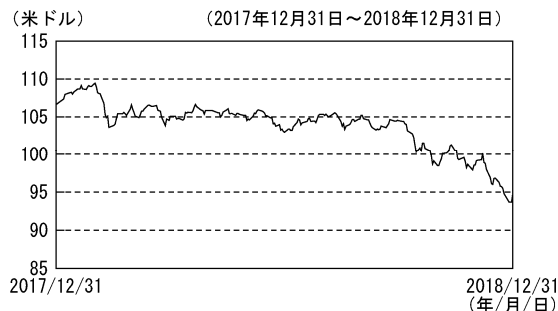
（注4）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「償還運用報告書（全体版）」をご覧ください。

マザーファンドの組入上位ファンドの概要

<UBS (CAY) グローバル・グロース・アンド・インカム クラスA>
(2018年12月31日現在)

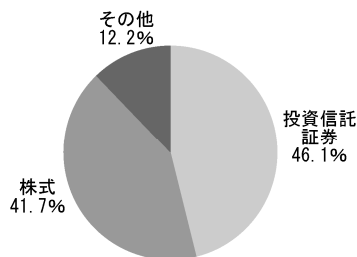
■基準価額の推移



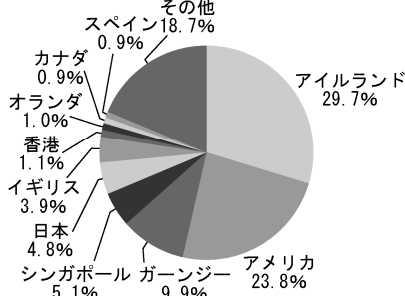
■組入上位10銘柄 (銘柄数合計：198銘柄)

銘柄名	種別	比率(%)
iShares \$ Corporate Bond UCITS ETF	投資信託証券	8.4
iShares Core Euro Corporate Bond UCITS ETF	投資信託証券	5.3
iShares \$ High Yield Corporate Bond UCITS ETF	投資信託証券	5.0
iShares JP Morgan USD Asia Credit Bond Index ETF	投資信託証券	4.9
iShares JP Morgan \$ Emerging Markets Bond UCITS ETF	投資信託証券	4.5
iShares Euro High Yield Corporate Bond UCITS ETF	投資信託証券	3.5
NB Global Floating Rate Income Fund, Ltd.	投資信託証券	3.1
Sequoia Economic Infrastructure Income Fund, Ltd.	投資信託証券	2.8
iShares Edge MSCI Emerging Markets Minimum Volatility UCITS ETF	投資信託証券	2.2
HICL Infrastructure Co., Ltd.	投資信託証券	2.0

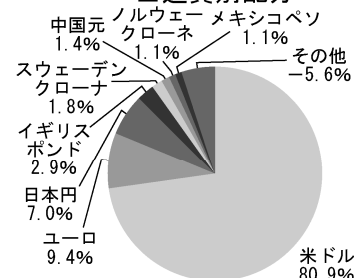
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 「国別配分」は、発行国または投資国を表示しております。また、「その他」には預金およびその他資産（負債控除後）が含まれます。

(注4) 「通貨別配分」は、為替予約取引を含めて表示しております。

(注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

■1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

- ・ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社東京証券取引所に帰属します。
- ・ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- ・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
- ・ NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
- ・ FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）
FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）
JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。